

# 隣保館だより

第450号

2023年 12月号

発行◎九重町隣保館

大分県玖珠郡九重町大字右田3088-2

TEL: 0973-76-2468 FAX: 0973-76-2446



## ひとりひとりが主人公

# 第24回いのち・愛・人権フェスティバル

1948年12月10日に「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定め、全国で様々な取り組みが行われています。九重町では1998年12月7日、九重町隣保館トイレで差別落書きが発生し、多くの人の心を傷つけました。この時感じた差別に対する「憤り」と「この日を忘れない・この時の気持ちを風化させない」ために「いのち・愛・人権フェスティバル」を毎年開催しています。

今年は、水平社宣言に学ぶ会のみなさんによる構成詩「一人ひとりの学びに向けて」の発表のあと、映画『破戒』の上映を行いました。部落差別がいかにか人を苦しめているか知り、部落差別をはじめとする様々な人権課題を自分の課題として考える機会となりました。



ハワイエ展示



わ〜くす・たんぼぼ販売



実行委員長あいさつ



水平社宣言に学ぶ会

### 人権啓発パネル ・ 活動紹介



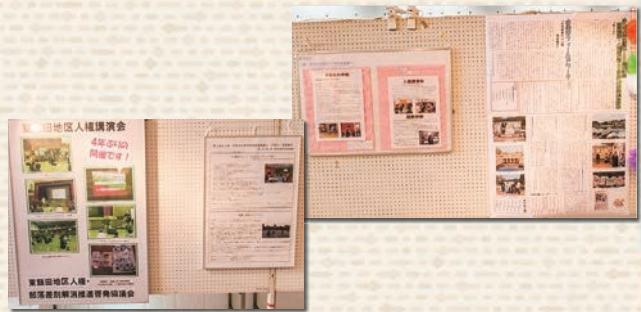
(九重町での差別事例)



(大分県人権9課題)(本人通知制度・部落差別解消推進法)



(隣保館シルバース作品など)



(地区人権・部落差別解消啓発推進協議会)

### 隣保館教室生の作品



生け花教室



編み物教室

### 活動紹介・活動作品



わ〜くす・たんぼぼ、  
どり〜む・たんぼぼ



地域生活支援センターはぎの



小学校6年生の隣保館学習



## 九重町隣保館人権学習会を開催しました

11月15日(水)に九重町隣保館において、大分県人権啓発講師の雪松太樹さんを迎え、「介護のそなえ～するもされるも自分ごと～」と題して「高齢者の人権」について講演していただきました。

介護についての経験談を交えながら制度や考え方、捉え方について詳しくお話をいただき、新たな学びや気づきがたくさんありました。介護する側の権利、介護される側の権利、家族の権利を大切にして、多様な立場で考えながら学習や啓発を続けていく事が大切であることを改めて感じました。

### 参加者の感想 (一部)

- ・今までは介護を「してあげる」という意識がありましたが、それは間違いで、介護を受ける側がどうすれば気持ちよく生きて行けるかを考えて介護を行うことが大切だと気づかされました。
- ・一人ひとりの生活をいかに大切にできるか、人権を大切にできるかは、学んだり、考えたりしないと守られないことだと改めて思いました。自分ごととして考える習慣をつけていきたいです。



## 人権啓発フェスティバルヒューマンフェスタ2023おおいたに参加しました

11月25日(土)、大分市ガレリア竹町において、人権啓発フェスティバルヒューマンフェスタ2023おおいたが開催されました。大分県をはじめ県内で人権課題と向き合い様々な活動をしている組織、団体のみなさんが、パネル展示やマルシェコーナー、人権クイズラリー、メッセージアートなどで人権について楽しく学べて参加できる取り組みを行いました。隣保館活動紹介コーナーでは県下13館が取り組みについてのパネルや作品等を展示し、ステージイベントでは隣保館についての紹介と手話ソングを発表しました。



## ◇これからの行事◇

【月・木は人権相談日】

月 日	行事名
12月21日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)
12月22日(金)	ハッスルシルバース(たけのこ会)
12月26日(火)	生け花教室、歌声サロン

月 日	行事名
1月 8日(月・祝)	編み物教室
1月15日(月)	編み物教室
1月18日(木)	ハッスルシルバース(コスモス会)
1月24日(水)	カラフルタイム
1月25日(木)	ハッスルシルバース(たけのこ会)

